

事業報告書

事業名	令和2年度 社会福祉士リーダー研修事業																		
事業の実施状況	<p>1 e-ラーニング講義の制作、研修会の開催</p> <p>(1) e-ラーニング講義の制作</p> <p style="padding-left: 20px;">以下の基礎研修の講義 16 コマを制作した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク ・ 社会福祉における法 I ・ ソーシャルワークと権利擁護の視点 I ・ ソーシャルワークと権利擁護の視点 II ・ 意思決定支援 ・ 社会資源の理解と社会資源開発 ・ 連携システムのあり方とネットワークの構築 ・ 地域における福祉政策と福祉計画 ・ 社会福祉調査の方法と実際 ・ 地域における福祉活動の実際 ・ スーパービジョンのモデルセッションを見る ・ スーパービジョンのモデルセッション ・ 新人教育プログラム ・ スーパービジョンとは ・ 社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営 ・ リスクマネジメントと苦情解決システム <p>(2) 社会福祉士の基礎研修を伝達するリーダーの養成</p> <p>○2020 年度 基礎研修講師養成研修</p> <p style="padding-left: 20px;">参加者 延べ 334 人</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">内訳</td> <td style="padding-right: 10px;">1 科目受講者</td> <td style="text-align: right;">95 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 科目受講者</td> <td style="text-align: right;">41 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 科目受講者</td> <td style="text-align: right;">13 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 科目受講者</td> <td style="text-align: right;">4 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5 科目受講者</td> <td style="text-align: right;">0 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6 科目受講者</td> <td style="text-align: right;">17 名</td> </tr> </table> <p style="padding-left: 20px;">日程 2021 年 2 月 13 日 (土曜日) ～14 日 (日曜日)</p> <p>2. 委員会の開催</p> <p>○基礎研修講師養成研修プロジェクト会議</p> <ol style="list-style-type: none"> ①2020 年 6 月 13 日 : 6 名 ②2020 年 8 月 29 日 : 6 名 ③2020 年 11 月 19 日 : 6 名 	内訳	1 科目受講者	95 名		2 科目受講者	41 名		3 科目受講者	13 名		4 科目受講者	4 名		5 科目受講者	0 名		6 科目受講者	17 名
内訳	1 科目受講者	95 名																	
	2 科目受講者	41 名																	
	3 科目受講者	13 名																	
	4 科目受講者	4 名																	
	5 科目受講者	0 名																	
	6 科目受講者	17 名																	

事業の成果

1 e-ラーニング講座の制作

本年度の事業では、新人社会福祉士の必修研修に位置づけている基礎研修のe-ラーニング化を推進した。

基礎研修は3ヵ年にわたる研修であり、6科目から構成されている。研修時間は10単位(150時間)であり、当研修を受講することで実践をふまえた知識や技術を身につけることができる。もとより、社会福祉士は常に最新の知識と技術を学び研鑽を続ける必要があるが、一方で現場は日々忙しく学ぶためのまとまった時間が取りにくい現実もある。また、昨今のコロナ禍は集合で研修を行うことが困難な状況を生み出した。

そのような状況で、本事業では基礎研修の講義を全てe-ラーニング化し、研修時間の約50%をオンデマンドで受講することを可能とした。この結果、社会福祉士にとって基礎研修を受講しやすい環境へ整えることができた。また、e-ラーニング講義は各科目のスペシャリストが講師を担っており、地域によるばらつきなく講義の質を担保することが合わせて可能となった。

2 基礎研修講師養成研修の開催

基礎研修は、全ての都道府県社会福祉士会で開催するため、研修の質を担保することができるよう、継続的に講師の養成、運営体制の充実を図っている。これまでも、社会福祉振興・試験センターの助成金を得て「基礎研修リーダー養成研修」や「基礎研修講師養成研修」を開催してきており、着実に各都道府県社会福祉士会の基礎研修は充実してきている。

本年度は、講義のe-ラーニング化を前提に講師養成研修を行うとともに、基礎研修テキストの改訂に伴う基礎研修内容や研修運営マニュアルの見直し・アップデートを行い、それらにもとづいて基礎研修で行う6つの科目について、研修の講師及びファシリテーターが講義や演習を行う際の重点事項及び注意箇所等のポイント等を伝達した。

また本年度はコロナ禍ということもあり、当研修をZoomを活用したりリモート研修で各科目をシリーズで行った。そのことにより、受講者が複数の科目を受講することを可能にし、各都道府県に多くの基礎研修講師を養成することができた。